

2022 年度事業報告

1. 理事会・総会

日 時	2023 年 3 月 19 日(土) 午後 1 時(理事会) 午後 2 時(総会)
場 所	大阪キャッスルホテル
議 事	(1) 2021 年度事業報告 (2) 2021 年度決算報告 (3) 2021 年度会計監査報告 (4) 2022 年度事業計画(案) (5) 2022 年度予算(案) (6) 新役員の選出について

2. 第Ⅶ期「市民自治講座」の開講

□趣 旨

経済的価値観への一元化、人口減少と少子高齢化、都市及び中山間地域の衰退、ポピュリズムの勃興、ナショナルなものへの偏愛や非寛容の精神の跋扈など、危機は今そこに遍在している。

私たちはこれらの動きを、自治と民主主義の危機ととらえ、そのような時代潮流に抗して市民の自立と自律、自主と自治、共感と共生（連帯）を回復していく必要があると考える。このためには、市民が小さな空間を足がかりに、自ら文化を育み、そこからコミュニティや都市を再生していくを通して、深刻化する社会の問題に立ち向かっていくほかない。その基礎には市民みずからが自治の哲学をつくりあげていくことが必要である。

「市民自治講座」は、これまでに蓄積されてきた人類の知恵から学ぶとともに、熟議を通して、新しい市民自治の姿を思い浮かべ、地域にねざした市民社会のつくり方を学び、市民の手で明日の自治をともに築いていくための基礎とすることをめざして開講する。

なお、今回は同一の講師による講演ではなく、市民活動家や自治体議員の事例報告やパネルディスカッションを行うなど第Ⅵ期と同様の試みとなった。

- ・主 催 「市民自治講座」実行委員会
(特定非営利活動法人NPO政策研究所・大阪市政調査会で構成)
- ・講 座 連続3～4回で構成する講座を年1回開催予定。

- ・会 場 原則として大阪市内（ドーンセンターなど）
- ・参 加 どなたでも。定員 30 人程度。連続参加を原則（スポット参加も可能）。

□第Ⅶ期「市民自治講座」

- ・共通テーマ「地方自治のこれから ～誰が明日をつくるのか～」

第 1 回講座

「自治とは何か ～政治哲学から深く本気で考えたい～」

講師 岡本仁宏（関西学院大学名誉教授）

日時 9月24日（日）14時～16時

第 2 回講座

「地方議会の行方 ～議会改革から見えてくること～」

報告者 前泊美紀（那覇市議会議員）

「共生拠点「いくのパーク」の挑戦 ～多文化共生のまちづくり～」

報告者 宋悟さん（NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと理事・事務局長）

日時 10月22日（日）14時～16時

第 3 回講座

「対談：差し迫る「自治の喪失」～その現状と状況打開の方途～」

対談者 嶋田暁文（九州大学教授）

対談者 役重眞喜子（岩手県立大学教授）

日時 11月19日（日）14時～16時

第 4 回講座

「これからの市民社会を考える ～持続可能な地域社会づくり～」

パネリスト 前泊美紀／宋悟／嶋田暁文／役重眞喜子

コメンテーター 中川幾郎（帝塚山大学名誉教授）

コーディネーター 相川康子（NPO 政策研究所専務理事）

日時 1月20日（土）14時～16時30分

3. 新・大阪の自治を考える研究会（仮称）の活動

2020年11月1日に住民投票で大阪市廃止・分割が再び反対多数で否決されたことをうけて大阪の自治を考える研究会は終了したが、その後も維新政治のもとで広域一元化条例の制定など大阪の自治を侵害するうごきがあり、昨年春には統一自治体選挙も行われた。一方で人口減少やポストコロナを見据えた都市のあり方についても中長期的に考える必要がある。このような認識のもと、引き続き大阪の自治の現状を考える研究会が新たに発足した。REAL OSAKA や連合大阪有識者会議とも連携しつつ、研究者や市民活動家などゲストスピーカーを呼んでの学習会と内部委員による企画会議・情報交換をそ

れぞれ交互に隔月で行った。なお、研究会は昨年 12 月 8 日の総括会議をもって終了した。

参 加	大阪地方自治研究センター・自治労大阪府本部 大阪市政調査会など		
経 過	第 11 回研究会	2 月 2 日 (木)	午後 4 時～
	第 12 回研究会	3 月 8 日 (水)	午後 4 時～
	第 13 回研究会	4 月 19 日 (水)	午後 4 時～
	第 14 回研究会	6 月 28 日 (木)	午後 4 時～
	総括会議	12 月 8 日 (金)	午後 4 時～

4. 会誌『市政研究』の定期発行

会誌『市政研究』については、第 218 号 (2023 年冬季) では**特集●地域から民主主義を考える**を発行。政治への無関心がいわれているが、とりわけ大阪のようにポピュリズム的な勢力によって政治が左右される現象も生じている。一方で、大阪市廃止分割を問う 2 度の住民投票や IR カジノの住民投票を求める署名活動では、市民の新しい動きも生まれており、地域において市民が政治に参加する場を構築することが求められている。地域における民主主義の可能性について考えた。

第 219 号 (2023 年春季) では**特集●デジタル社会は自治体をどう変えるか**を発行。総務省「自治体 DX 推進計画」のように「上から」の変革が迫られている一方で、自治体の側でもデジタル社会への対応、あるいはデジタル技術を用いたとりくみが進んでいる。デジタル社会の進展により、自治体あるいは自治体と市民の関係がどう変化し、その過程でどんな課題・問題が発生するのかについて考えた。

第 220 号 (2023 年夏季) では**特集●都市のコミュニティ政策**を発行。地縁団体が弱体化し、一方で多くの昼間人口、マンション住民の増加という状況のもとで希薄化がすすむ都市のコミュニティをどう再生するかについては長年課題とされてきた。さらに現在では、コロナ禍、孤立・孤独、防災などに対してのコミュニティの役割が再認識されている。このような状況にある都市のコミュニティ政策について考えた。

第 221 号 (2023 年秋季) では**特集●いまあらためて人権を考える**を発行。人権擁護推進審議会答申 (2001 年) でも「とりわけ同和問題など不当な差別は、憲法施行後 50 年以上を経過した今日の時点でも解消されていない」とされているように、人権の保障・擁護はいまなお課題とされている。その一方で新たに認識されるようになった人権、あるいはネット等を通じて深刻化した人権侵害もある。本特集では、いまあらためて人権を考え、その現状と課題について考えた。

□第 218 号 (2023 年冬季)

特集●地域から民主主義を考える

地域から民主主義を考える	岡本仁宏
ミュニシパリズムの可能性	岸本聡子
IR 署名運動にみる新しい市民の動き	井上眞理子
地方議会から民主主義を考える	勝井太郎

図書紹介

井上 浩著 (日本評論社)	
『労働基準監督官』	千本沢子
吉村智博著 (近現代資料刊行会)	
『近代大阪の都市周縁社会——市民・公共・差別——』	若松 司
連載 なにわ路上観察紀行 第 71 回 兵庫県城崎温泉界限	
湯よし文よし食よし幸もよし。	前田和男
おおさかミュージアム雑感④⑨	
漱石は大阪から出航した・続	加藤英一

地域特性とポピュリズム投票	薬師院仁志
——フランスのデータからみえる謎——試論:ポピュリズムの社会学的分析に向けて	

□第 219 号 (2023 年春季)

特集●デジタル社会は地方自治をどう変えるか

デジタル時代におけるオープンガバナンスの可能性	奥村裕一
DX と地域の民主主義	岡本仁宏
情報消費社会の地方自治とその隘路	今井 照

図書紹介

神原文子・田間泰子著 (白澤社)	
『ひとり親のエンパワメントを支援する～日韓の現状と課題』	伍賀偕子
連載 なにわ路上観察紀行 第 72 回 兵庫県豊岡界限	
コウノトリが運んできた居心地のよさ	前田和男
おおさかミュージアム雑感⑤⑩	
漱石はつらいよ・大阪篇	加藤英一

市民自治講座 第VI期 地域コミュニティを考える 第2回
地域自治協議会の取り組み・中間支援組織の取り組み
——事例から学ぶ——

馬袋真紀／寶楽陸寛

研究随想 羽鳥卓也先生との思い出

玉井金五

□第220号(2023年夏季)

特集●都市のコミュニティ政策

都市のコミュニティ政策

名和田是彦

コミュニティの担い手をどう発見し育てるか

谷 亮治

——あるいは、まちづくり人材をめぐる政策論のコペルニクス的転回について——

都市部における防災とコミュニティ

相川康子

都市における地域自治組織とコミュニティ政策

田中逸郎

図書紹介

葛西リサ著(かもがわ出版)

『13歳から考える住まいの権利』

白波瀬達也

——多様な生き方を実現する「家」のはなし——

連載 なにわ路上観察紀行 第73回 大阪府泉佐野市界限

関空のお膝元に仰天の迷宮の町

前田和男

おおさかミュージアム雑感51

防潮堤と阪本勝

加藤英一

市民自治講座 第VI期 地域コミュニティを考える 第3回

これからのコミュニティと公共性

嶋田暁文

□第221号(2023年秋季)

特集●いまあらためて人権を考える

いま、あらためて人権を考える

李 嘉 永

部落差別の現状とその撤廃にむけた諸課題

内田龍史

子どもの権利をめぐる今日的課題

吉永省三

LGTP 理解増進法とバックラッシュ

尾辻かな子

図書紹介

駒村圭吾編著(弘文堂)

『Liberty 2.0 ——自由論のバージョンアップはありうるのか?——』 谷合佳代子

連載 なにわ路上観察紀行 第74回 和歌山県和歌山市境界

和歌山が近畿のオマケからど真ん中になる日が近い？

前田和男

おおさかミュージアム雑感(52)

防潮堤と阪本勝・続

加藤英一

市民自治講座 第VI期 地域コミュニティを考える 第4回

これからの市民社会を考える ——持続可能な地域社会づくり——